

2011年（平成23年）9月25日（日）

第2回

岡崎 家康公検定

試験問題 100 問

- 問題はすべて四者択一です。（1）から（4）まで四つある答えの中から、正しい番号を選んで、その番号を答案用紙にご記入ください。

<記入例>

【101】家康公が、元服して最初に名乗った名前はどれでしょうか？

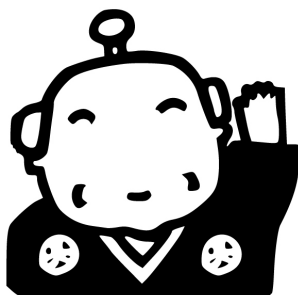
(1) 信長 (2) 信康 (3) 元信 (4) 元康

↓ 答案用紙

100 101 102

3

同じ番号の
ところに記
入してくだ
さい。



受験番号

お名前

【1】四天王とは、本来、仏法を守護する4人の武神をいうことばで、これになぞらえ、家康公を守り、援け、家康公と強い絆で結ばれ、大活躍した四人の武將を「徳川四天王」と言いますが、その中でも家康公の父・広忠の代から仕え、家康公より15歳年長なのはだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【2】三河武士とは、固い団結のもと、家康公の江戸幕府創設に貢献した三河国（岡崎を中心とした愛知県東部地域）出身の譜代の家臣を指しますが、次のなかで三河武士でないのはだれでしょうか？

- (1) 石川家成 (2) 大久保忠俊 (3) 織田信秀 (4) 酒井正親

【3】天文11年（1542年）、家康公が誕生した時、日本は何時代だったのでしょうか？

- (1) 鎌倉時代 (2) 室町時代 (3) 安土桃山時代 (4) 江戸時代

【4】刈谷城主・水野忠政の娘で、家康公の父・松平広忠に嫁いだ家康公の母の名はなんのでしょうか？

- (1) 於大 (2) 於富 (3) 於久 (4) 築山

【5】家康公が生きた時代（1542～1616年）、中国を支配していた王朝はなんのでしょうか？

- (1) 漢 (2) 元 (3) 明 (4) 清

【6】徳川四天王のひとり、井伊直政が生まれたのは現在のどこでしょうか？

- (1) 岡崎市井田町 (2) 岡崎市西蔵前町
(3) 豊田市上郷町 (4) 浜松市北区引佐町

【7】徳川四天王のひとり、酒井忠次が生まれたのは現在のどこでしょうか？

- (1) 岡崎市井田町
- (2) 岡崎市西蔵前町
- (3) 豊田市上郷町
- (4) 浜松市北区引佐町

【8】徳川四天王のひとり、榊原康政が生まれたのは現在のどこでしょうか？

- (1) 岡崎市井田町
- (2) 岡崎市西蔵前町
- (3) 豊田市上郷町
- (4) 浜松市北区引佐町

【9】徳川四天王のひとり、本多忠勝が生まれたのは現在のどこでしょうか？

- (1) 岡崎市井田町
- (2) 岡崎市西蔵前町
- (3) 豊田市上郷町
- (4) 浜松市北区引佐町

【10】徳川四天王のなかで、年齢ねんれいが同じなのはだれとだれでしょうか？

- (1) 井伊直政と酒井忠次
- (2) 酒井忠次と榊原康政
- (3) 榊原康政と本多忠勝
- (4) 本多忠勝と井伊直政

【11】家康公の長男・信康のぶやすより2歳若く、徳川四天王のなかで最年さいねんしょう少年なのはだれでしょうか？

- (1) 井伊直政
- (2) 酒井忠次
- (3) 榊原康政
- (4) 本多忠勝

【12】徳川四天王のひとり、酒井忠次の酒井家は、代々、松平まつだいら家の家老かろうを務めた特別な家柄いえがらで、家康公と酒井忠次も親戚しんせきの関係にありました。家康公からみて、酒井忠次はどんな関係になるのでしょうか？

- (1) 祖父
- (2) 義理の父
- (3) 義理おじの叔父
- (4) 兄

【13】天文16年(1547)、6歳の家康公が最初に人質になったのは何家だったのでしょうか？

- (1) 織田家 (2) 武田家 (3) 戸田家 (4) 水野家

【14】天文18年(1549)、家康公の父・広忠は、祖父・清康と同じく家臣に殺害されましたが、この二人の主君の仇を討ったといわれる新六郎の通称を持つ三河武士はだれでしょうか？

- (1) 青山忠門 (2) 植村氏明 (3) 小栗吉忠 (4) 蜂屋貞次

【15】天文18年(1549)、8歳の家康公が今川家の人質となったとき、駿府に付き従った徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【16】天文20年(1551)、駿府での人質時代、鷹狩りにあこがれた10歳の家康公は、鷹の代わりに百舌を躡けるように側近の鳥居元忠に命じましたが、それが上手にできなかった鳥居元忠を家康公はどのようにしたと伝わるのでしょうか？

- (1) 縁側から突き落とした。
(2) 切腹を命じた。
(3) 木刀でなぐりかかった。
(4) 岡崎に帰した。

【17】弘治2年(1556)、父・広忠の墓参りを許され、岡崎城に一時帰城した家康公は、深夜、老臣の鳥居忠吉に鳥居家の蔵に案内されました。家康公が岡崎城主になった時に使って欲しいと、今川方に知られないように蔵いっぱい貯蔵されていたものはなんだったのでしょうか？

- (1) 千両箱 (2) 鉄砲と火薬
(3) 武器と米俵と銭の束 (4) 兵法書

【18】弘治3年(1557)、家康公は今川義元の姪ともいわれる瀬名姫と結婚し、翌年、長男の信康が生まれます。この信康の幼名はなんだったのでしょうか？

- (1) 梅千代 (2) 竹千代 (3) 日吉丸 (4) 松千代

【19】永禄3年(1560)、桶狭間の合戦に先立って行われた大高城の兵糧入れが初陣となった徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【20】永禄3年(1560)、桶狭間の合戦で、若い家康公に付いて軍奉行を務めた徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【21】桶狭間の合戦で今川義元が倒され、松平家の菩提寺である岡崎・大樹寺まで退却した家康公は、そこで後に徳川四天王の一人となる人物に出会いますが、それはだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【22】永禄4年(1561)、家康公は織田信長と和睦し、翌年、清洲同盟を結びますが、家康公一行が清州城下に入ったとき、騒ぎたてる織田の武者や群集たちにその無礼を一喝し、騒ぎを鎮めたと伝わる徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【23】永禄6年(1563)、三河一向一揆が初陣となった徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【24】永禄7年(1564)、三河を統一した家康公は、軍制上、三河を東西に分け、東三河の旗頭(リーダー)には徳川四天王の一人を任じました。吉田城(豊橋市)を与えられたこの徳川四天王はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【25】永禄8年(1565)、家康公は領国内の民政や訴訟に対応するため、岡崎に三河三奉行を置きました。次のなかで三奉行でないのはだれでしょうか？

- (1) 天野康景 (2) 大久保忠世 (3) 高力清長 (4) 本多重次

【26】永禄9年(1566)、家康公は朝廷から徳川復姓を許され、三河守に任じられましたが、家康公の祖先が名乗っていたといわれるこの徳川姓は源氏の何氏の流れでしょうか？

- (1) 足利氏 (2) 佐々木氏 (3) 仁木氏 (4) 新田氏

【27】家康公が定めた「三備の制」で、本多忠勝や榊原康政は一軍の将として取り立てられましたが、その役職はなんだったのでしょうか？

- (1) 馬廻役 (2) 岡崎近習衆 (3) 旗本先手役 (4) 西三河旗頭

【28】永禄10年(1567)、家康公は9歳の長男・信康に嫁を迎えましたが、だれの娘でしょうか？

- (1) 今川氏真 (2) 織田信長 (3) 武田信玄 (4) 水野信元

【29】元亀3年(1572)、三方ヶ原の合戦の前に起こった一言坂の戦いで、みごと殿をつとめ、敵から「家康に過ぎたるものが二つあり、唐の頭に〇〇〇〇」と称えられた徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【30】元龜3年（1572）、三方ヶ原の合戦は家康公にとり生涯一度の屈辱的な敗戦となりましたが、この戦いの相手となった戦国大名はだれでしょうか？

- (1) 今川氏真 (2) 上杉謙信 (3) 武田信玄 (4) 豊臣秀吉

【31】三河一向一揆のときには一揆側に味方し、捕えられましたが家康公にゆるされ、以後、忠誠を尽くして、三方ヶ原の合戦で家康公の身代わりとなって討ち死にした三河武士はだれでしょうか？

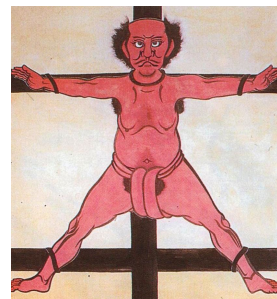
- (1) 大久保忠俊 (2) 夏目吉信 (3) 本多忠真 (4) 松平家忠

【32】三方ヶ原から浜松城に迫る敵軍に対し、城門を開け広げ、かがり火を赤々と燃やし、太鼓を打ち鳴らして味方の士気を高め、敵をけん制して城を守ったと伝えられる徳川四天王はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【33】天正3年（1575）、長篠城の攻防で、城を抜け出して岡崎城の家康公と信長に助けを求める使者の務めを果たしましたが、帰城の途中に捕まり、「援軍来る」の知らせを大声で長篠城の仲間に伝えたため、武田軍に磔にされ殺されたのはだれでしょうか？

- (1) 大賀弥四郎
(2) 大久保彦左衛門
(3) 鳥居強右衛門
(4) 本多作左衛門



【34】天正3年（1575）、長篠・設楽原の合戦前夜、酒井忠次は織田信長の望みにより得意の踊りを披露し、座を和めたといわれますが、それはどんな踊りだったのでしょうか？

- (1) 海老すくい踊り (2) かぶき踊り
(3) どじょうすくい踊り (4) 念仏踊り

【35】長篠・設楽原の合戦でとびのすやまとりできしゅうを奇襲し、合戦を勝利にみちび導いた徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【36】長篠の戦いの陣中から妻に宛てた手紙で、その簡潔さから日本一短い手紙ともいわれる次の文を書いた三河武士はだれでしょうか？
「いっぴつげいじょう一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥こやせ」

- (1) 天野康景 (2) 大久保忠世 (3) 高力清長 (4) 本多重次

【37】天正4年(1576)、家康公は長男・信康の手配により、この年、初めて次男の於お義丸ぎまると岡崎城で対面したといわれます。後の小牧・長久手の合戦後に秀吉に人質に出された於義丸は、なんという名前の武将になるのでしょうか？

- (1) とくがわいえみつ徳川家光 (2) はしほひでかつ羽柴秀勝 (3) ただよし松平忠吉 (4) ゆうきひでやす結城秀康

【38】天正4年(1576)、遠江・芝原の陣が初陣となった井伊直政は、どのような手柄てがらを立てて家康公から3千石こくの加増を受けたのでしょうか？

- (1) 家康公の寝室しんしつに忍び込んだ武田の刺客しきやくを撃退げきたいした。
(2) 戦場で家康公に自分の馬を貸して助けた。
(3) 先駆けして敵陣に斬り込み、武田勝頼かつよりを討ち取った。
(4) 敵陣にひとりで夜襲やしゅうをかけ、大軍たいぐんを追い払った。

【39】天正7年(1579)、長男・信康が切腹せつぷくする年に、後に二代将軍となる三男・秀忠ひでただが誕生します。秀忠は最初「長松」という幼名でしたが、天正12年に家康公と同じ幼名に変わります。それは何という幼名だったのでしょうか？

- (1) せんちよ仙千代 (2) たけちよ竹千代 (3) 長千代 (4) まつちよ松千代

【40】天正10年(1582)、甲斐かいに侵攻しんこうして武田氏ほろを滅ぼし、家康公と合流した織田信長が、駿河、遠江をあづち通あづちって安土に帰る途中、一人の三河武士を呼び、家臣たちに「この者こそ、花も実も兼ね備えたほま誉れある勇士である」と紹介したとされます。信長がたた称たたえたこの徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【41】天正10年(1582)、本能寺ほんのうじの変さかいが起こり、堺さかいにいた家康公一行は、明智光秀軍の追っ手や土豪どごうの襲撃しゅうげきを避けながら伊賀の山中を越え、無事、岡崎に帰ることができました。このとき、「伊賀者いがもの」を動員し、一行の伊賀越えを成功させたといわれる三河武士はだれでしょうか？

- (1) 雑賀孫一さいがまごいち (2) 筒井順慶つついじゆんけい (3) 服部正成はっとりまさなり (4) 六角久頼ろっかくひさより

【42】伊賀越えのとき、家康公に同行していなかったのはだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 徳川秀忠 (4) 本多忠勝

【43】天正12年(1584)、小牧・長久手の合戦で、豊臣秀吉と家康公が対決しました。このとき、秀吉の織田信長への不忠を非難する檄文げきぶんを書き、高札こうさつを立て、秀吉を激怒げきどさせた徳川四天王の一人はだれだったでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【44】小牧・長久手の合戦で華々はなばなしいデビューかざを飾った井伊直政の部隊はある色で統一した鎧兜よろいかぶとを着用していました。その軍装ぐんそうはその色から何と呼ばれたでしょうか？

- (1) 赤備せなえ (2) 黄備え (3) 黒備え (4) 白備え

【45】 幼名「^{ようみょう}於亀」、通称「^{つうしょう}小平太」と呼ばれた徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【46】 幼名「^{とらまつ}虎松」、通称「^{まんちよ}万千代」と呼ばれた徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【47】 幼名「^{こへいじ}小平次」、通称「^{さえもんじょう}左衛門尉」と呼ばれた徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【48】 幼名「^{なべのすけ}鍋之助」、通称「^{へいはちろう}平八郎」と呼ばれた徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【49】 「^{あおい}立ち葵」を家紋とする徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次
(3) 榊原康政 (4) 本多忠勝



【50】 「三つ葵」紋に似た「^{かたばみ}片喰 (酔漿草)」を家紋とする徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次
(3) 榊原康政 (4) 本多忠勝



【51】本多忠勝が着用した鹿角の兜は、武運の神を祀るある八幡宮の神主が夢のお告げで製作したところ、同じ夢を見た忠勝が参詣し買い求めたものといわれます。この八幡宮はどこでしょうか？

- (1) 伊賀八幡宮 (2) 宇佐八幡宮
 (3) 鶴岡八幡宮 (4) 若宮八幡宮

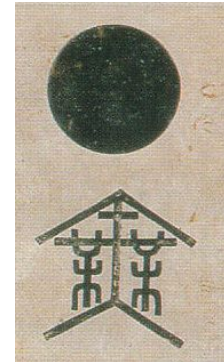


【52】長槍を得意とした本多忠勝ですが、自慢の槍の名は次のどれでしょうか？

- (1) 鬼丸 (2) 蜻蛉切 (3) 日本号 (4) 物干し竿

【53】徳川四天王のひとり、榊原康政の旗には、日輪（太陽）と文字が書かれています。この日輪の下に書かれているのは、なんという文字でしょうか？

- (1) 会 (2) 慈 (3) 是 (4) 無



【54】天正 13 年（1585）、小牧・長久手の合戦後の家康公と秀吉の間の交渉の中で板ばさみになって苦しみ、岡崎から大坂の秀吉の元に出て行き、後に松本城主となった重臣の三河武士はだれでしょうか？

- (1) 石川数正 (2) 大久保忠世 (3) 平岩親吉 (4) 渡辺守綱

【55】天正 14 年（1586）、秀吉の妹・朝日姫を正室に迎えた家康公は、秀吉の母・大政所まで岡崎城に人質に差し出され、とうとう和議に応じるため上洛しますが、その間、岡崎城で大政所を親身に警護して大政所に大変気に入られ、大坂城まで送り届け、秀吉からも好印象を得て豊臣姓を与えるとまで言われた徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【56】 諸将の前で臣下の礼をとらせようと、上洛した家康公に対し、秀吉がその前夜にとつたと伝えられる行動とは次のどれでしょうか？

- (1) 家康公の宿所を突然訪れ、臣下の礼をとるよう頭を下げて懇願した。
- (2) 家康公の宿所を大軍で包囲し、臣下の礼をとるよう強要した。
- (3) 千利休を遣わし、純金の茶器を贈って臣下の礼をとるよう説得した。
- (4) 石田三成を遣わし、臣下の礼をとるよう命令した。

【57】 天正 16 年（1588）、隠居した酒井忠次が余生を過ごした土地はどこだったでしょうか？

- (1) 江戸
- (2) 大坂
- (3) 岡崎
- (4) 京都

【58】 酒井忠次の隠居後も、江戸開府に多大な貢献をした本多忠勝、榊原康政、井伊直政の 3 人を称して、一般的にはなんと呼んだでしょうか？

- (1) 徳川三傑
- (2) 徳川三大名
- (3) 徳川三天王
- (4) 徳川三奉行

【59】 天正 17 年（1589）、家康公は真田氏との和睦が成立すると、真田昌幸の長男・信之（幸村の兄）に本多忠勝の娘を自分の養女として嫁がせます。稲姫とも呼ばれたこの女性はだれでしょうか？

- (1) 亀姫
- (2) 江姫
- (3) 小松姫
- (4) 徳姫

【60】 天正 18 年（1590）、豊臣秀吉は関東の北条攻めを行い、家康公も先鋒としてこの戦に参加しました。この北条氏の居城があったのはどこでしょうか？

- (1) 熱海
- (2) 江戸
- (3) 小田原
- (4) 鎌倉

【61】北条氏との戦はこの城に対する包圍戦^{ほういせん}で、周囲の支城を除けば戦らしい戦はありませんでしたが、唯一、夜襲^{ゆいいつ やしゅう}により篠曲輪^{しのぐるわ}を破り惣構^{そうがまえ}の中に攻め入って開城を早めた徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【62】天正 18 年 (1590)、家康公の関東移封^{いほう}にともない、上野国箕輪^{こうづけのくにみのわ} (群馬県高崎市) 12 万石の大名となった徳川四天王はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【63】家康公の関東移封にともない、上野国館林^{たてばやし} (群馬県館林市) 10 万石の大名となった徳川四天王はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【64】家康公の関東移封にともない、上総国大多喜^{かずさのくに おおたき} (千葉県夷隅郡大多喜町) 10 万石の大名となった徳川四天王はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【65】家康公の関東移封にともない、箱根を守る要所である小田原 4 万石の大名となった岡崎市上和田町生まれの三河武士はだれでしょうか？

- (1) 今川氏真 (2) 大久保忠世 (3) 服部正成 (4) 北条早雲^{ほうじょうそう'un}

【66】家康公の関東移封にともない、秀吉により岡崎城主を命じられ、岡崎城の大改修を行って現在の岡崎の町割りの元を作った豊臣武将で、関ヶ原戦後^{せきがはら}、石田三成を捕えた功により、家康公より九州柳川^{やながわ} 32 万石の大大名に取り立てられた武将はだれでしょうか？

- (1) 田中吉政^{たなかよしまさ} (2) 中村一氏^{なかむらかずうじ} (3) 細川忠興^{ほそかわただおき} (4) 山内一豊^{やまのうちかずとよ}

【67】東京の青山は、関東移封の初期に、江戸町奉行ぶぎょうを務めた三河武士・青山忠成ただなりの屋敷があったことから地名が青山となりました。では青山忠成の生誕地どうどの百々城があったのは現在の何市でしょうか？

- (1) 岡崎市 (2) 静岡市 (3) 豊橋市 (4) 浜松市

【68】文禄元年(1592)、豊臣秀吉による朝鮮出兵(文禄の役)ぶんろく えきのとき、加藤清正きよまさはその武勲ぶくんにあやかろうと、徳川四天王の一人の馬印うまじるし「桔梗笠ききょうがさ」を借りて朝鮮に出陣しました。その四天王とはだれのことでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【69】関白かんぱくとなった豊臣秀吉が、諸大名を集めて「宝自慢じまん」をしあつたとき、秀吉は黙だまっていた家康公に対し、どんな宝を持っているのか尋ねました。家康公はそのとき、なにが自分の宝だと答えたでしようか？

- (1) 自分のために命を惜おしまぬ働きをする家臣
(2) 親からさずかった病気をしない健康な体
(3) これまで身につけた学問
(4) 名門である源氏の家柄

【70】文禄4年(1595)、後に徳川二代将軍となる秀忠が嫁(正室)に迎えたのはだれでしようか？

- (1) 亀姫 (2) 江姫ごう (3) 初姫はつ (4) 千姫せん

【71】慶長4年(1599)、伏見城ふしみにいた家康公が、戦乱を納め平和な時代にするには武士の意識改革いしきかいかくが必要と考え、新しく始めたことはなんだったでしようか？

- (1) 過剰かじょうな武器を取り上げる刀狩かたな がりの実施じっし
(2) 修養教育しゅうようを行う学校の設立
(3) 経済発展のための街道かいどうの整備
(4) 儒学じゅがくなどを学ぶための本の出版しゅつぱん

【72】慶長5年（1600）、関ヶ原の合戦に先立ち、譜代の臣である鳥居元忠、内藤家長、松平家忠などが玉砕した戦いはどこであったでしょうか？

- (1) 小豆坂 (2) 大垣城 (3) 桶狭間 (4) 伏見城

【73】慶長5年（1600）、関ヶ原の合戦で、自分の娘の夫である忠吉（家康公の四男）と共に、先鋒の福島正則を出し抜いて、真っ先に西軍に襲いかかった徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【74】中山道を関ヶ原に急ぐ徳川秀忠軍は、信州上田城で足止めされ、結果的に天下分け目の合戦に遅れ、家康公の怒りを買います。この時、秀忠をかばい、責任は秀忠の補佐役である自分にあると主張し、家康公と秀忠の仲をとりもった徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【75】関ヶ原の合戦の後、平和な時代への第一歩として、家康公は軍事的に重要な地に譜代大名を配置しました。では、石田三成の旧領の近江国佐和山（滋賀県彦根市）18万石に移封された徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【76】東海道を守る要衝の地、伊勢国桑名（三重県桑名市）10万石に移封された徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【77】慶長6年(1601)、京都所司代しよしだいに任じられ、京都の治安維持と朝廷との折衝せつしょう、さらに大坂の豊臣家の監視とよとみけ かんしに当たった、岡崎市小美町お いちよう生まれの三河武士はだれでしょうか？

- (1) 板倉勝重いたくらかつしげ (2) 伊奈忠次い なただつぐ (3) 土井利勝ど いとしかつ (4) 松平信綱のぶつな

【78】慶長7年(1602)、関ヶ原の合戦での鉄砲傷てつぽうきずがもとで、家康公の征夷大將軍せいゐ就任しゅうにんを見ることなく、42歳でこの世を去った徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【79】慶長8年(1603)、江戸に幕府ぼくふを開いた家康公が、大坂城の豊臣秀頼ひでより(11歳)との関係を深めるためにとった行動はなんだったでしょうか？

- (1) 秀頼が成人したら天下を譲る約束ゆずをした。
(2) 秀頼を関白にした。
(3) 孫娘の千姫(7歳)を秀頼に嫁がせ、結婚式を大坂城で行った。
(4) 絵師の狩野永徳えし かのうえいとくに秀頼の肖像画しょうざうがを描かせた。

【80】生涯しょうがい57度の戦に臨みのぞ、一度も刀傷かたなきずを負わなかったと伝えられる徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【81】知勇兼備けんびにして最ももっと人品高しと家康公に評された徳川四天王の一人はだれでしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【82】慶長10年(1605)、天下の行方を示すため、将軍職を秀忠に譲って大御所となった家康公が、隠居城としたのはどこだったでしょうか？

- (1) 岡崎城 (2) 駿府城 (3) 二条城 (4) 伏見城

【83】慶長10年(1605)、家康公は朝鮮国との国交を回復し、以後、江戸時代を通して続く日本国と朝鮮国との善隣友好関係の元を築きました。305年後、明治政府によって日本に併合されるまで続いた、朝鮮半島にあった国の名前はなんだったでしょうか？

- (1) 高麗 (2) 新羅 (3) 大韓民国 (4) 李氏朝鮮

【84】家康公と同年の三河武士で、駿府での人質時代から従い、家康公の長男・信康事件の際は傅役として自分の首と引き換えに信康を守ろうとしたが叶わず、後年は犬山城主となり、家康公の八男・仙千代(6歳で死去)を養子に得るほど信頼された三河武士はだれでしょうか？

- (1) 鳥居元忠 (2) 平岩親吉 (3) 本多忠勝 (4) 渡辺守綱

【85】家康公の九男・義直が尾張藩主となると、その付家老として寺部城主(豊田市)となった家康公と同年の三河武士で、服部正成の「鬼半蔵」に対し「槍半蔵」と呼ばれた槍の名手はだれでしょうか？

- (1) 鳥居元忠 (2) 平岩親吉 (3) 本多忠勝 (4) 渡辺守綱

【86】慶長15年(1610)に病没した本多忠勝が残した遺言書「惣まくり」に書かれている真の侍とは？

- (1) 困難に負けず、いざというときには主君と共に討ち死にできる者
(2) 普段から武芸の鍛錬を怠らず、戦場で手柄をたてる者
(3) いかなるときも礼儀作法を忘れない者
(4) 日々儉約し、質実剛健を心がける者

【87】慶長20年(1615)、戦国の世が長く続いてきたため宮中の規律や官位の授け方が乱れていました。これを正常化し、公武の関係を確立させるために制定された法律を何というのでしょうか？

- (1) 禁中並公家諸法度
- (2) 御成敗式目
- (3) 十七条憲法
- (4) 武家諸法度

【88】1615年、大坂の陣を終結させ戦乱の因を取り除いた家康公は、朝廷に願い元号を「元和」と改め、これより平和な時代が始まることを内外に宣言しました。これを「元和偃武」と呼んでいますが、「偃武」とはどんな意味でしょうか？

- (1) 武力により国を治める
- (2) 武器を収め、使用をやめる
- (3) 武士が政治を行う
- (4) 武士は朝廷に従う

【89】元和2年(1616)、家康公は朝廷より最高位の官職に任じられました。その官職とはなんのでしょうか？

- (1) 大御所
- (2) 征夷大將軍
- (3) 大納言
- (4) 太政大臣

【90】元和2年(1616)、本の出版に熱心だった家康公は、約1万冊の愛蔵書のある者たちに分け与えました。これらの本は「駿河御讓本」と呼ばれますが、だれに分け与えられたのでしょうか？

- (1) 徳川四天王の家
- (2) 徳川御三家と將軍家
- (3) 外様大名
- (4) 駿河国の町民

【91】元和2年(1616)、家康公は遺言で、遺体は久能山に葬ること、葬儀は江戸の増上寺で執り行うことなどを命じますが、位牌はどこに置くよう命じたのでしょうか？

- (1) 江戸・寛永寺
- (2) 岡崎・大樹寺
- (3) 川越・喜多院
- (4) 清水・清見寺

【92】家康公の遺訓の中に、「〇〇は無事長久のもと、怒りは敵と思え」とありますが、〇〇とはなんですか？

- (1) 重荷 (2) 勘忍 (3) 寛容 (4) 笑い

【93】一族の忠勤の功績を松平九代の歴史とあわせて著した「三河物語」の著者として知られる武功派の三河武士はだれですか？

- (1) 大久保彦左衛門忠教 (2) 木下藤吉郎秀吉
(3) 酒井与四郎正親 (4) 服部半蔵正成

【94】江戸末期の動乱の中、尊王攘夷派を厳しく取り締まり（「安政の大獄」と呼ばれます）徳川幕府を守ろうとしたものの志半ばで暗殺された徳川四天王の子孫はだれですか？

- (1) 井伊直弼 (2) 酒井忠寛 (3) 榊原政令 (4) 本多忠直

【95】徳川四天王のひとりで、子孫が明治に至るまで代々「近江・彦根藩主」を務めたのはだれですか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【96】徳川四天王のひとりで、子孫が明治に至るまで代々「出羽・庄内藩主」を務めたのはだれですか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【97】徳川四天王のひとりで、子孫が明治維新のときに最後の「越後・高田藩主」を務めたのはだれですか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【98】岡崎城がある岡崎公園に銅像が建ち、子孫が岡崎藩主として明治維新を迎えた徳川四天王のひとり是谁でしょうか？

- (1) 井伊直政 (2) 酒井忠次 (3) 榊原康政 (4) 本多忠勝

【99】岡崎城天守閣の隣にあり、家康公とともに本多忠勝をご祭神とする神社はどこでしょうか？

- (1) 菅生神社 (2) 龍城神社 (3) 八剣神社 (4) 六所神社

【100】「厭離穢土 欣求淨土」の旗のもと、家康公と徳川四天王たちが生き抜いた人生は、日本に平穏な暮らしをもたらした、その平和な時代は明治まで長きにわたり引き継がれ、日本文化の礎となりました。この、世界史的にも珍しい長く平和な江戸時代は、何年間続いたのでしょうか？

- (1) 65年 (2) 165年 (3) 265年 (4) 365年

以上 おつかれさまでした。